



## 日中国交正常化 45 周年記念講演より

今年は日中国交正常化 45 周年であります。私は去年の 10 月にこちらに参ったので、もう 10 ヶ月になります。これまで色んなところを回って、各県の知事、市長、商工会議所の会合など、色々な人にお会いして一番感じたのは、中国との交流、日中の交流を非常に大事にしている、ということです。地元の発展も、中国との交流がなければ、何かが欠けているのだと感じられるようです。

地方の空気と東京の空気はずいぶん違ふと、つくづく感じています。地方に行きますと、地方の空気は中日交流の空気、或いは中国と日本の間でもっと色んな分野で協力してやっという空気が濃厚だと感じられます。実際に、今年は日中国交正常化 45 周年ということで、各地で色々な行事、色々なイベントを展開しています。私の知っているところでは、例えば、石川でも富山でも岐阜でも、色々な行事を開催しました。

特に岐阜の場合は、国交正常化の 10 年前から既に中国と交流し、日中友好の石碑を中国の杭州市と交換しています。そして今年は 55 周年記念の特別なイベントを開催し、東京から程永華大使も駆けつけてくれ、非常に良いイベントになりました。

また、青少年交流を促進するのが非常に大事だと思

います。青少年は国の将来です。中日間でも、かつては修学旅行など、色々な青少年交流が盛んでした。是非、修学旅行も含めまして、スポーツや文化の交流など、もっと大いに青少年交流を行っていただきたいと思

います。例えば、上山奨学財団は毎年「平成の遣中使」の派遣を行っています。更に、今年は岐阜市の日中友好青年訪中団も上海を訪れ、つい一昨日、帰ったばかりです。これらの交流は非常に成果のあったものだと考えています。そして北京大学でも、中国から 500 人が参加し、日本の大学からの参加者と共に「中日大学生千人大会」を開催しました。この大会には、中国の女性の政治家である劉延東副総理も出席して挨拶をし、両国の大学生の交流を激励しました。

こういった交流を通して、是非、若者同士の交流をもっと密接にやっという空気が濃厚だと感じられます。実際に、今年は日中国交正常化 45 周年ということで、各地で色々な行事、色々なイベントを展開しています。私の知っているところでは、例えば、石川でも富山でも岐阜でも、色々な行事を開催しました。

駐名古屋中華人民共和国総領事館  
鄧偉総領事

## 月例会報告

9 月 5 日の例会は、駐名古屋中華人民共和国総領事館より、鄧偉総領事をお招きして「日中国交正常化 45 周年記念講演」を行いました。お話の一部をご紹介します。

今年是中国にとって、政治的に大きな意味を持つ年となります。共産党の第 19 回党大会が来月の 18 日に開催されるからです。共産党の党大会は 5 年に一度開催となっているので、これからの少なくとも 5 年間の中国の発展が、この大会によって左右されることとなります。非常に重要な大会です。

経済的に見ますと、前回の第 18 回大会から 5 年が経ちますが、昨年の経済成長率は 6.7%と、依然として高い水準にあります。今の中国はニューノーマルの状態に入りまして、経済の状態としては落ち着いて、これからの発展のために力を蓄える時期になっていると思います。この時期をクリアしますと、いわゆる中進国の畏に入らずに、先進国の仲間入りができるのではないかと期待されます。

それから、中国は一带一路というものがあります。シルクロードは皆さんご存知かと思いますが、陸上のシルクロードと海上のシルクロードがあり、昔は東アジアとヨーロッパの往来に使われていました。

そして海のシルクロードを通して、日本の奈良まで続いていました。一带一路とは、シルクロードを往来したように、周りの国々と協力して、一緒に発展していこうという計画です。日本も是非参加して、中国と一緒に発展を目指していければ有り難いことだと思います。

中日関係は、非常に重要であり、同時に複雑であると言えます。中日友好交流の歴史は二千年以上に渡りますが、その中では一時不幸な歴史もありました。そんな歴史を乗り越えて、1972 年、国交正常化が実現しました。そしてこの 45 年間で著しい発展ができたのです。72 年の両国間の貿易量は 10 万ドルほどでした。それが今では 3 千億ドルにも達しています。日本にとって経済的に一番緊密なのは中国なのです。今は関係があまり良くありませんが、国と国の関係で何も問題がないこととはほとんど無いと思います。大事なのは、国民レベルでお互いによく往来して、本当の姿を知ることだと思います。



## 実家のトイレ

実家のある全州県で暮らしている、最も気になったのはトイレです。いわゆるニーハオトイレのようなものはほとんど見なかったのですが、とにかく扱いがぞんざいで居心地が悪かったです。

下水はしっかりしているらしく、手動とはいえ、一応水洗トイレが普及していましたが、プライベート的な空間、或いは汚れた場所といった意識は薄いようで、ついでに倉庫に

使っていたり、洗面所と一緒にあったり、妙に広かったり狭かったり、設置場所に関するこだわりを感じることはありませんでした。幸いというか、閉鎖性なども全く追及していないため、やたらと風通しが良く、臭いがこもらないという長所も発見しましたが。

ちなみに実家のトイレは、屋根に登るための階段が設置されている塔の一階にありました。塔の一階に

あるのは水道とトイレだけで、あとは屋根に登る階段という造りです。そのため、屋根に登って景色の写真を撮っているとき、トイレに人が入ってしまい、しばらく下りられなくなってしまうことがありました。もしかすると、たとえ下りていったとしても先方は気に留めなかったのかもしれませんが…。

ホテルや空港の洋式トイレがとも輝いて見える日々でした。

## 成語故事コーナー

wàngméizhǐkě

### 望梅止渴 (梅を望んで渴きをいやす)

ある夏、曹操が軍隊を率いて遠征に出たときのことで。その日はとても暑く、雲一つない快晴でした。あまりの暑さに兵たちは喉が渴いて疲れ果て、進軍もままなりませんでした。

このままでは勝機を逃してしまうだろうと、曹操は焦ります。案内役に尋ねたところ、付近に水はなく、もし水が欲しいのであれば、進む方向を変えなくてはならないと言われてしまいました。

三国志の英雄、曹操の登場です。有名な逸話なのですが諸説あるらしく、いつ、どこへ向かうときのことなのかは調べきれませんでした。

「それでは駄目だ。戦場に到着するのが遅くなってしまう」

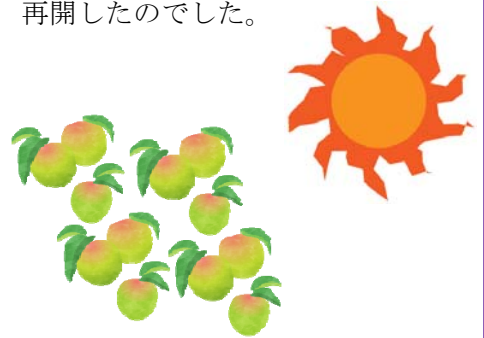
困り果てた曹操ですが、周りの山を見て思い立ちます。そして前方を指差して言いました。

「あれを見ろ！ 向こうの山には梅の木が生い茂っているぞ。大きな実が沢山なっている。甘酸っぱくてさぞうまいことだろう！」

それを聞いて、兵士たちは大喜びします。梅の味を想像すると、口の中に唾液が溢れてくるではありませんか。

力強いリーダーならではの故事にも見えますが、例文を見てみると、井戸の水が枯れてしまったので望梅止渴、ショウケースの宝石がと

せんか。たちまちに喉の渴きがいやされていきます。そして、元気を取り戻した兵士たちは、力強く進軍を再開したのでした。



ても美しいけれど望梅止渴、のようなものが並んでいます。力強い意味ではなく、想像で自分を慰めるという使い方の方です。

## 漢方教室 81 雲南省文山産有機田七人參

### 【田七人參とは？】

中国雲南省文山地方で栽培され、高麗人參と同じ人參の仲間です。植えてから収穫までに、3～7年かかることから、三七人參とも呼ばれています。田七人參は、中国では古くから漢方素材として用いられてきました。数多くの方がその健康パワーを体感してきたという実績があります。

### 【田七人參の有効成分】

田七人參には、サポニン、アミノ酸、ビタミンが豊富に含まれています。サポニンは高麗人參にも含まれていますが、田七人參には高麗人參の約7倍のサポニンが含まれてお

り、さらに田七ケトン、亜鉛、鉄などのミネラル、天然アミノ酸、抗酸化SODなどの栄養成分も豊富です。女性のキレイを守るビタミンやカロチンも含まれています。

### 【日本安恵田七人參】

日本安恵の田七人參は1粒に約250mgの有機田七人參を含有しています。特殊製法で、有機田七人參を他の成分で薄めることなく100%純粋に製造しました。一般的な田七人參サプリの1日分以上である250mgを1粒に配合していますのでパワーが違います。

田七人參



原料は、中国雲南省文山地方で3年以上栽培された無農薬・有機栽培田七人參だけを使用しています。田七人參の実感力を左右するのは、吸収率です。

日本安恵田七人參は、田七人參を低分子化することにより、より多くの有効成分を吸収しやすいように加工したサプリメントです。

興味のある方は、フリーダイヤル0120-045-539まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社



中国からの引き揚げ—思い出すがまに④

先日9月13日、見た人があるかもしれませんが、NHKのBSプレミアムで、インタビュー・ドキュメント「自伝 なかにし礼」をやっていました。私は、何年か前の週刊新潮に連載された「赤い月」を思い出しました。なかにしさんは、この作品以後、「兄弟」「長崎ぶらぶら節」等を発表され、小説家として大成されていくことになるわけです。

私が彼の作品に共感したのは、同年でしかも満州からの引揚げ者であったことです。彼が住んでいたのは、私のいた丹東よりもずっと北、ソ連の国境に近い街「牡丹江」でした。逃避行は、私たちより過酷な体験をされたようです。小説の中で、南に逃げる時、つてを頼って、仕立てられた軍用列車に乗ることができた様子が書かれています。南へ逃げたい日本の一般人は、乗車を拒否されます。それでも逃げたい一心で、列車に群がる一般人は無蓋貨車にしがみつきます。すると、乗っていた軍人が、日本刀を抜いて脅したり、拳銃を出して乗せないようにしたり、貨車にしがみついている手の指を一本一本はがし取ることまでやって、列車が出ていくわけです。残された人たちは、どんな気持ちで列車を見送ったのでしょうか。

なかにしさんは、この時の後悔の念をずっと引きずって生きてこられたようです。こうした過酷な引揚げ体験をされた人は、ほかにも沢山おられますが、ずっと胸に秘めて持ち続けている人が多いのです。

杉本 克治

9月誕生日の人の言葉

今月の誕生日の人の言葉はお休みします。

会員さんの活動紹介

会員の熊谷さんが会長をされている宅老事業・くすの樹の活動(扶桑町)が、8月4日の尾北ホームニュースで紹介されました。

熊谷さんは、7月12日に開催された異文化交流に張ウェイさんをお招きして、中国伝統弦楽器の演奏会を行ったそうです。

張ウェイさんは昨年11月、日中文化協会の月例会でも演奏してくださいました。



秀麗伝～美しき賢后と帝の紡ぐ愛～



漢王朝を再興し、後漢の国を建てた光武帝こと劉秀の物語です。

物語は漢王朝滅亡後の西暦20年ごろ、新王朝の圧政に人々が苦しみ、各地で反乱が勃発し、混乱が続くところから始まります。主人公の劉秀は、漢王朝の再興を志す兄の劉エンを支えながら、農業をやっていきます。人々の生活は苦しく、治安も悪いため、後の將軍たちで最初は盗賊として登場する人も居ます。

力を蓄えた後、劉秀は兄と共に挙兵します。寄せ集めのような軍隊も、緑林軍や平林軍と結託し、勝利を重ねながら一大勢力へと発展していきます。

しかし、勢力の拡大に伴って内部的に派閥争いも激化していきます。人々の暮らしを守ることが第一と考える劉エンは、親戚の劉玄が新しい主君となることを認めて内部分裂を回避するのですが、劉エンの力と人望を恐れた劉玄一派に謀殺されてしまいます。



怒りに駆られる劉秀ですが、友人の馮異に諭され、兄の志を継ぐことを決意し、劉玄の下で働きながらチャンス待ちます。そして、河北へと派遣されたことを転機に、自らの勢力を築き始めます。大きな勢力となった後は、劉玄の帰還命令を無視して、自らも皇帝として即位します。最後まで志を捨てなかった劉秀の下には多くの人材が集まり、最終的に天下統一を果たし、後漢の国の礎を築くことになります。

以上、あらすじを紹介してみました。全50話というのでもさることながら、劇中では30年以上の長い年月が流れます。ひとつひとつのエピソードは丁寧に描かれているため見応え十分ですが、戦乱が終わった後には、いつの間にか死んでしまっている人たちも沢山います。

ともあれ、最後の「約束を果たしたことを家族に報告したい」という劉秀の言葉には、万感の想いが込められていたことでしょう。

中国史上、英雄の中の英雄とも言える劉秀の物語が、今はゲオやツタヤ等のレンタルショップで借りられます。DVD全26巻。



## お知らせ

### ★10月例会

日時：10月3日（火）18：00～

### ★JCCA 中国語サロン

日時：10月7日（土）21日（土）14：30～

### ★日本語広場

新学期開始前のため日本語広場はお休みです。

### ★上山学院 10月期入学式

日時：10月11日（水）10：00～

### ★11月例会

日時：11月7日（火）18：00～

### ★12月例会

日時：12月5日（火）18：00～

12月の月例会は恒例の忘望年会です。

### 上山学院日本語学校からのお知らせ

9月12日（月）13日（火）と二日間に渡り、学生たちのスピーチ大会を行いました。日中文化協会賞を獲得したのは、「ついしてしまうこと」のスピーチをしたB1組のフィトリアさん（インドネシア）と、「留学して成長したこと」のスピーチをしたC組の梅延璋さん（中国）です。



10月11日（水）11時から、上山学院10月期入学式を行います。今回は約40人の新入生を迎えることになりました。これで在校生と合わせて、約140人の大所帯となります。日中文化協会の会員さんも、是非、入学式にご参加ください。



### 10月例会

日時：10月3日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

18：30～ 「中国で働くということ」

－現場の問題解決事例に学ぶ

講師：高田拓先生

19：30～ 茶菓での交流会

会場：中統奨学館ビル 4階

1. 中国ビジネス現場における問題解決事例を中心に要求されるスキル、楽しさ、難しさを話します
2. 背景にある人々の価値観や文化的背景、現代中国の歴史過程を踏まえた「ものの見方・考え方」、社会構造まで理解できるようにします

皆様のご参加をお待ちしています！



### 高田拓先生プロフィール

松下電器（中国）有限公司、北方地区（黄河流域北部）、華東・華中地区総代表として5年間勤務。退職後、各企業、大学で中国セミナー、赴任者研修講師。2009年～中国各地の大学で教鞭、2012年山東省政府から「齊魯友誼獎」受賞。齊魯工業大学、曲阜師範大学の客員教授、2015年山東外国語職業学院の終身名誉教授

### 編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館  
TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036  
一般社団法人日中文化協会 編集長 上山耕治